

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

## 静岡県産の米と食材を活かしたレトルト薬膳粥等の開発および販売事業

お粥に適した静岡産のコメと、生薬および地場野菜を活用して、安心安全な静岡県産のレトルト薬膳粥や薬膳スープ等の新規開発・販売を目指す。

### 連携体

農林漁業者

有限会社山本耕業(法人番号 3080002015300) (農業)

新たに開発する薬膳粥等の具材に適した米の品種を選択し、栽培方法や精米方法の研究開発を実施するとともに、生薬の製品化に適したオタネニンジンの苗の試験栽培や、薬膳粥等に適した野菜の栽培に新たに取り組む。

中小企業者

株式会社システック (法人番号 1080401002223)  
(技術者特定派遣・レトルト食品製造)

県内産のコメや野菜、わさびやセロリなどの県内特産品等を使った薬膳粥等の新しいラインナップを開発する。

連携参加者

NPO法人全日本薬膳食医情報協会／株式会社朝日生薬

県内産の食材を活用した薬膳粥のレシピ開発およびオタネニンジンの苗と栽培技術の提供を行う。

サポート機関等

静岡県商工会連合会、浜北商工会、(独)中小企業基盤整備機構関東本部

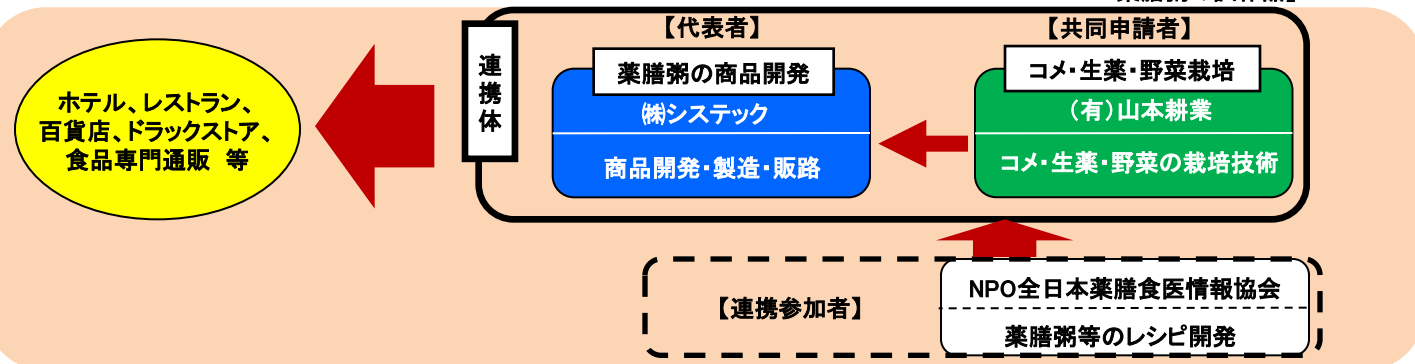
### 連携に当たっての課題や工夫

(有)山本耕業がコメの品種の選択と、精米方法の工夫に取り組み、お粥に適した食感と栄養価のある米を選択する。これを受けて、システックが薬膳専門家の協力を得ながら、山本耕業のコメと食材を使ったレトルト薬膳粥のレシピ開発を行う。また山本耕業がシステックおよび朝日生薬と連携して生薬の原料となるオタネニンジンの栽培に取り組むことにより、薬膳粥原料の国内調達を実現する。

次の段階としてシステックは、薬膳研究家の監修のもと、伊豆のわさびや篠原の白タマネギなどの静岡県の特産品を使った新しい薬膳粥等を開発し、さらにアスリート向け、アンチエイジング対策等のターゲットを絞った商品展開を実施する。



【静岡県産のお米を活かした薬膳粥の試作品】



### 連携による効果

農林漁業者

5年で855万円の売上高増加、収益性の強化

付加価値の高い加工品原料を生産することで安定した収益性を確保できることに加え、新事業によりコメ需要の拡大と価格維持が可能な野菜等の新規栽培が可能となり、売上減少の回避と、土地の有効活用等の効果が見込める。

中小企業者

5年で14250万円の売上高増加、自社開発事業の拡大

自社開発事業の拡大が実現できるうえ、安全・安心な県内産食材を活用した薬膳粥等を展開することで、セルフメディケーション分野への進出が浸透し、企業イメージ向上が期待できる。

### 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社システック

TEL：053-428-4300

E-mail：nb@systec.co.jp

所在地：静岡県浜松市北区新都田1-9-9

FAX：053-428-4310

ホームページ：http://www.systec.co.jp